

平成19年度予算 施策別概要

122 学校教育の充実

(主担当部：教育委員会)

12201	教育改革の推進	(教育委員会)
12202	児童生徒の基礎学力の向上	(教育委員会)
12203	特色ある教育の推進	(教育委員会)
12204	特別支援教育の推進	(教育委員会)
12205	健やかな心を育む教育の推進	(教育委員会)
12206	子どもたちの安全の確保と健康の増進	(教育委員会)
12207	教職員の資質の向上	(教育委員会)
12208	学校施設等学習環境の整備	(教育委員会)
12209	私学教育の振興	(生活部)

< 施策の目的 >

(対象) 児童生徒が

(意図) 学校教育によりそれぞれの個性や能力を伸ばすとともに、楽しく安心して学んでいる

< 施策の数値目標 >

施策目標 項目 (主指標)	学校に満足している児童生徒の割合	目標値	2010	75%
			2007	70.5%
		現状値	68.8%	

小学校5年生、中学校2年生、高等学校2年生の児童生徒を対象とする「学校生活についてのアンケート(授業内容の理解、質問できる雰囲気、相談できる雰囲気、学校生活の安心感、目的意識の有無、学校施設への満足度の6項目)」の平均値から算出した、学校に満足している割合(教育委員会小中学校教育室、高校教育室調べ)

県の取組	授業内容を理解している児童生徒の割合	目標値	2010	85%
			2007	79%
		現状値	76.4%	
目標項目 (副指標)	学校経営品質に基づき改善活動に取り組んでいる学校の割合	目標値	2010	80%
			2007	52%
		現状値	42%	
特別支援教育を受けている生徒の進学および就労の割合	特別支援教育を受けている生徒の進学および就労の割合	目標値	2010	34%
			2007	29%
		現状値	27.4%	

< 現状と課題 >

- ・ 児童生徒の学力や学習意欲の低下が懸念されている中、学力の定着・向上をめざすとともに、身につけた知識や技能を活用できる力を育み、将来、自立した一人の県民として社会参画できる能力を育成する必要があります。
- ・ 学校における暴力行為やいじめなどの問題行動や不登校などの状況が依然として厳しく、また、児童生徒の安全を脅かす事案も後を絶たないため、学校と家庭、地域、関係機関が連携して、児童生徒の健やかな心身の育成と安全の確保に取り組み、楽しく安心して学べる学校づくりを進める必要があります。

<平成19年度の取組方向>

児童生徒一人ひとりに応じたきめ細かくいきとどいた教育を推進し、学力の定着・向上をめざします。また、学校教育全体を通じた一貫した人づくりの観点から、社会の中での役割や責任を自覚し、自らの生き方や学び方なども考えることができる資質や能力を育む教育を進めます。さらに、外国人児童生徒を支援するため、日本語教育および学校生活への適応指導の充実に取り組みます。

暴力行為やいじめ、不登校などの課題に対しては、学校と家庭、地域、関係機関が連携して、児童生徒の規範意識や社会性を育むとともに、心の悩みや不安の解消に向けた取組を進めます。また、児童生徒の安全確保についても、地域等との連携を一層深めて取り組みます。

障害のある児童生徒一人ひとりの個性や能力を伸ばし、自立や社会参加ができるよう、早期からの一貫した支援体制づくりを進めるなど、特別支援教育の推進とその充実をはかります。

児童生徒の健康を保持増進するため、家庭、地域、関係機関と連携し、食育および体育・スポーツ活動の充実に取り組みます。

私学教育については、建学の精神を生かした特色ある教育や効率的な学校運営に積極的に取り組む学校への支援や、保護者の経済的負担を軽減するための支援などを進めます。

<主な事業>

(重) 少人数教育推進事業【基本事業名：12202 児童生徒の基礎学力の向上】

予算額： 1,231,393千円 1,258,446千円

事業概要：小学校において、各学校の実情に応じ、少人数授業などの拡大をはかるため、教員の配置を拡充(10人増)し、きめ細かな少人数教育を一層推進します。なお、小学校1、2年生については、30人を基準とした学級編制(ただし、下限25人)を継続して実施します。また、中学校1年生での35人を基準とした学級編制(ただし、下限25人)を引き続き実施するとともに、各学校の実情に応じて、2年生あるいは3年生に弾力的に振り替えられる制度も継続します。

(一部新)(重) 学力向上支援事業【基本事業名：12202 児童生徒の基礎学力の向上】

予算額： 17,625千円 18,646千円

事業概要：児童生徒の学力の定着・向上をはかるため、課題のある小中学校を中心に、授業方法や評価方法等の工夫・改善や補習への取組を支援するとともに、県独自の学習教材を作成します。

(新)(重) 教育改革推進事業【基本事業名：12201 教育改革の推進】

予算額： - 千円 3,178千円

事業概要：子どもたちをとりまく環境の変化や学習ニーズの多様化に対応し、就学前から高校教育までを見通した「育ちのリレー」をより実効性のある取組とするため、学識経験者や県民の方々などからなる「三重県教育改革推進会議」を設置し、より多面的、専門的な調査検討を行います。また、国が進める新しい教育改革の動きも踏まえ、三重県全体の教育のあり方を広い視野から検討し、今後の方向性を示します。

(新)(重) 学びのステージ創造推進事業【基本事業名：12202 児童生徒の基礎学力の向上】

予算額： - 千円 7,432千円

事業概要：地域、幼稚園、保育所、小学校、中学校間の連携を深めてさまざまな課題を解決する取組を推進し、子どもたちが就学前から中学校まで発達段階に応じた学校生活をおくることができる教育環境をつくとともに、郷土三重について自信をもって発信できる人づくりを進めるための学習教材づくりに着手します。

(舞) 外国人児童生徒教育支援事業【基本事業名：12202 児童生徒の基礎学力の向上】

予算額： 16,093千円 13,975千円

事業概要：外国人児童生徒が、日本語や生活習慣を身につけられるよう、学校への巡回指導員の派遣や「プレスクール」(日本語の初期指導等を集中的に行う機関)の設置など、日本語指導や学校生活への適応指導に取り組みます。また、進路ガイダンスを開催し、子どもたちの進学に向けた取組を進めます。

(新)(重) 特別支援教育総合推進事業【基本事業名：12204 特別支援教育の推進】

予算額： - 千円 4,752千円

事業概要：特別支援学校が地域におけるセンター的機能を発揮できるよう、自校の専門性を向上させるとともに、小中学校等の要請に応じてLD(学習障害)・ADHD(注意欠陥/多動性障害)・高機能自閉症等を含めた障害のある子どもの「個別の教育支援計画」策定を支援します。

(一部新)(重) 生徒指導対策事業【基本事業名：12205 健やかな心を育む教育の推進】

予算額： 57,053千円 57,239千円

事業概要：学校、家庭、地域、関係機関が連携して、子どもたちの規範意識や社会性の醸成、生徒指導上の問題を抱えた子どもたちの支援を行うなど、学校における生徒指導の充実に取り組みます。さらに、課題等を抱えた学校に、豊かな経験や専門的知識を持った人材を適時に派遣し、問題行動等への迅速かつ適切な対応を行います。

(新)「いじめゼロ」子どもいきいき学校生活支援事業

【基本事業名：12205 健やかな心を育む教育の推進】

予算額： - 千円 22,062千円 *

事業概要：すべての児童生徒にいじめ防止に関する啓発資料を配付するとともに、24時間電話相談体制を継続するほか、モデル校を指定して、いじめ問題に対する実践的な調査研究を行うことにより、いじめの未然防止、早期発見・早期対応に努めます。

(舞) 学校食育推進事業【基本事業名：12206 子どもたちの安全の確保と健康の増進】

予算額： 10,871千円 8,504千円

事業概要：子どもたちが正しい食事のあり方を理解し、望ましい食習慣を身につけることができるよう、学校における食に関する指導体制を充実するとともに、学校、家庭、地域および関係団体の連携・協力による学校給食への地場産物の活用や食に関するさまざまな体験活動等を通じて、食育を推進します。

私立高等学校等振興補助金【基本事業名：12209 私学教育の振興】

予算額： 4,646,261千円 4,532,162千円

事業概要：公教育の一翼を担っている私立学校(小中高校)において、独自の建学精神に基づく個性豊かで多様な教育が推進されるとともに、児童生徒の就学上の経済的負担の軽減をはかるため、経常経費への支援を行います。